

出前授業「社会科見学」数矢小学校 6 年生

第三班 日向 進

数矢小学校の3年生が毎年、木材会館で社会科見学を実施しています。本年も2月に実施され4月号で紹介がありましたが、その後すぐの事、学校に帰った澤田校長先生から連絡をいただきました。「実は今の6年生がコロナ禍で木材会館に来られなかった学年で、ぜひ子どもたちの卒業を前に我が町の歴史、木材の勉強をさせてあげたい」との願いがありました。早速、数矢小応援団の重鎮で第三班の先輩、豊田副理事長、小林理事に相談、限られた時間で学校と木材会館の日程を調整したのですが、最終的に小学校に赴き出前授業を行う事となりました。

そして3月6日(木)2時間目(45分間)にキャリア教育として、6年生に体育館に集ってもらい、特別授業を行いました。内容は「初めの紹介」「木材会館映像」を小林理事が担当、次に豊田副理事長が「木のまち深川の歴史」をスライドで説明、そして最後に私が「木材クイズ」を担当し、大変に貴重な機会となりました。

当日は、全員に問屋組合から「木力タオル」と「木力クリアファイル」のお土産と、さらには豊田副理事長がクイズ用の景品として「木力Tシャツ」「木力キャップ」を5コずつ用意してくれました。もちろん子どもたちは、ほしいほしいと「木力ロゴ」の景品が大人気で、クイズの盛り上がりは最高潮でした。いつもの3年生とはまた違い、真剣な表情で話を聞き入っている6年生は、とても素晴らしいなと感心をいたしました。短い準備期間でしたが、様々ご協力頂いた学校の先生方、組合事務局の皆様ありがとうございました。





〈澤田校長先生より〉

世界が取り組んでいるSDGsでは「持続可能な社会の形成者」を育てることが大切です。令和7年度、数矢小学校はコミュニティー・スクールとなることをきっかけに、地域学習にこれまで以上に取り組みます。地域の皆様のお力をいただき、地域を愛し、誇りに思い、やがては持続可能な地域社会の担い手となる資質・能力の育成をめざします。その意味で、地域を学ぶことができなかった6年生の子どもたちに、木材とその産業に支えられたこの素晴らしい地域を学んで卒業してほしいと考えてお願いしました。急な依頼にもかかわらずお引き受けいただき、ありがとうございました。子どもたちには、これからもSDGsの目標にも取り組み、世界の現状を学ぶとともに、地域の人々との絆をもってほしいと思います。

〈学年主任 小田桐先生より〉

卒業を控えた6年生の子どもたちは、今回キャリア教育として木材会館の皆様から特別授業をしていただきました。生まれ育った町の歴史や木場について、改めて学ぶことができました。社会科で歴史を学んでいることもあり、時代背景を想像しながら詳しく話を聞くことができました。

子どもたちからは、「今日の授業で、そんなに昔から木材と関わりがあったなんて初めて知りました。」「自分の通学路が、元々は木材を運ぶ川だったなんて。」と新たな発見に驚いていました。また、授業の最後では木材クイズで素敵なプレゼントがありました。子どもたちは大喜びで、とても盛り上がりました。幸運にもプレゼントをもらえた子どもたちは、次の授業になっても身に付ける程お気に入りの様子でした。子どもたちにとって、とても充実した時間を過ごすことができました。

4月からは、中学生になる6年生の子どもたち。自分たちの町を誇りに思い、胸を張って新境地で頑張ってもらいたいと思います。